

名古屋学院大学 名古屋キャンパス 日比野学舎



所在地：愛知県名古屋市熱田区大宝3丁目1番17号
 建築面積：630.38㎡
 延床面積：4,685.97㎡
 構造・規模：SRC造、一部梁S造、地上8階建
 設計：山下・日建設計共同企業体
 施工：建築／(株)塩浜工業
 電気／(株)トーエネック
 竣工：平成19年1月

白鳥学舎からわずか700mの距離にある日比野学舎。少人数授業のほか、市民講座などを展開。
 照明は調光形教室専用器具を中心に目の負担を軽減しながら省エネを図っています。

少人数教育を中心とした授業と、地域貢献活動を活発に推進

白鳥学舎から徒歩5分、名古屋駅から電車で10分の場所にある日比野学舎は、地下鉄名港線駅上に建設され、地下鉄の出入口が隣接しています。

建物1階はカフェテリア、2階は事務室とカフェテリア、3階～7階は中・小合わせて22の教室、8階は大学院エリアの配置構成となっています。

全体的に小規模教室が多い日比野学舎では、語学・情報教育など少人数教育を中心とした授業が行われているほか、市民講座などのエクステンション活動も展開されており、地域との密接なつながりをもった教育・研究体制の構築が図られています。

目の健康を配慮した快適な学習環境を確保しつつ、省エネを図った照明設備

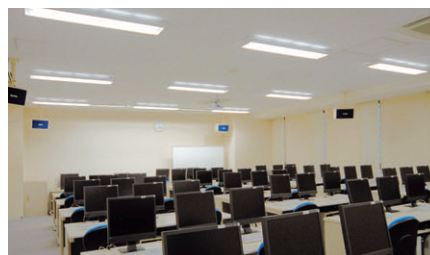
3階に配置されている150人教室の照明は、ベースに32WHf蛍光ランプ2灯用埋込調光形器具を黒板と並行に設置。3系統による昼光利用適正照度及び初期照度補正制御を行い、目の健康を配慮しながら省エネが図られています。また、プロジェクタ授業に対応するため、32Wコンパクト形蛍光ランプ調光形ダウンライトも設置し、30%～100%調光を可能にしています。

このほか、3階から7階にはコンピュータ教室をはじめ、多くの小教室が配置されています。これらの教室の照明は、同様の教室専用直付器具によるベース照明のみとし、照度センサ連動による昼光利用制御及び初期照度補正制御を2系統で行っています。

8階に配置されている大学院フロアの研究室は、32WHf蛍光ランプ1灯用埋込器具（調光形＋照度センサ）を1.8mピッチでライン配置。間仕切りされたそれぞれのブースには手元灯を別途設け、細かな研究環境に対応した明るさを確保できるようになっています。2階の事務室奥に配置されている講師控室の照明は、45Wコンパクト形蛍光ランプ4灯用埋込器具（乳白カバー付）を均等配置し、ゆったりとした落ち着いたある雰囲気を出しています。事務室には、照明制御システム主操作盤が設けられており、回路ごとの点灯・消灯制御を可能とし、消し忘れ防止にも対応しています。



150人教室：埋込形調光器具＋照度センサで昼光利用制御。調光形ダウンライトでプロジェクタ使用時に対応



コンピュータ教室の照明：ベース照明に教室専用器具と照度センサの組合せを採用



大学院研究室の照明：32WHf1灯用埋込器具＋照度センサを採用



ダウンライトによるエレベータホールの照明



スクエア器具による講師控室の照明



照明制御装置主操作盤

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
館内	教室専用直付器具（調光形）	FHT-42764-PD	204	32WHf蛍光ランプ×2
	埋込器具（調光形）	FHR-41890N-PD	70	32WHf蛍光ランプ
		FHR-42800-PD	58	32WHf蛍光ランプ×2
	埋込器具（黒板灯）	FHR-41091-PA	54	32WHf蛍光ランプ
	埋込器具（乳白カバー付）	FHR-54326K-PN	16	45Wコンパクト形蛍光ランプ×4
	ダウンライト	FHD-41001-PM	207	32Wコンパクト形蛍光ランプ
	笠なし器具	FHT-41007N-PA	79	32WHf蛍光ランプ